

一般社団法人日本内科学会臨時理事会議事録

1. 日 時 平成 28 年 7 月 28 日（木）14 時～16 時

2. 場 所 東京都文京区本郷 3 丁目 28 番 8 号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室

3. 理事総数 19 名 出席した理事の数 13 名

出席者 [理事]

門脇 孝（理事長）、伊藤 宏、磯部光章、竹内 勤、福田恵一、田中榮司、武田 純、杉山敏郎、
楠 進、平田一人、平田健一、高山哲治、赤司浩一の 13 名

欠席者 [理事]

長谷部直幸、滝川 一、矢富 裕、室原豊明、谷澤幸生、門田淳一の 6 名

[監事]

岡山昭彦、小澤敬也、檜垣實男の 3 名

4. 議事の経過及び結果

門脇 孝理事長が議長となり、次の 2 議案について逐次審議することとなった。

第 1 議案 新専門医制度への対応について

事務局から「新しい専門医制度への取り組みについて」を 6 月 20 日に本会ホームページ上に公表にいたるまでの経緯とその後の日本専門医機構の動向について説明を行った。その後、議長より日本専門医機構の方針を受けて平成 29 年度の専門医制度について現在の認定医制度を継続する方針と関連の対応等について公表する声明の文章案に沿って説明を行った後、各理事に意見等を求めた。各理事からは、各関係に配慮を求めるものや制度の見直しに関する意見があり、それらを踏まえて声明の文章案を修正することとし、修正の内容については理事長に一任することで承認を得た。

第 2 議案 その他

議長より、日本専門医機構が銀行より借り入れしている資金について、現在の財政状況では 8 月にも資金不足に陥る見込みであり、各社員に協力要請があった。内科学会としては専門医制度を支えるため、日本医師会と同額程度を外科学会とともに拠出したい。具体的な金額等は理事長に一任いただくよう説明があり、各理事の承認を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

平成 28 年 7 月 28 日

一般社団法人日本内科学会理事会

出席理事長

門脇

孝